

# 第4回木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトの開催

伊勢湾台風を超えるような大規模水害が生じた場合、ゼロメートル地帯が広がる木曾三川下流部では、洪水、高潮による広域的、長期的な浸水が想定されます。

本会では、プロジェクトのアドバイザーである東京大学大学院・片田特任教授より、各地で発生する大規模水害や広域避難の取り組み、今後の防災のあり方についてご講演がいただき、8市町村（桑名市、木曾岬町、海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、飛島村）の首長が参加したほか、一般の方も多く来場いただき盛況のうちに開催されました。また、講演のほかに、木曾三川下流部における水防災意識社会の再構築に向けた各種取組の紹介や、名古屋地方気象台長による最新の防災気象情報に関わる話題提供をいただくなど、地域防災のあり方を考える機会となりました。

日 時：令和元年5月26日（日）14:30～15:40  
会 場：木曾岬町役場ホール  
出 席：木曾三川下流部沿川8市町村長

プログラム：

《取組み紹介・話題提供》

- ・水防災意識社会の再構築に向けた取り組み  
（木曾川下流河川事務所長）
- ・大雨から身を守るための防災気象情報  
（名古屋地方気象台長）

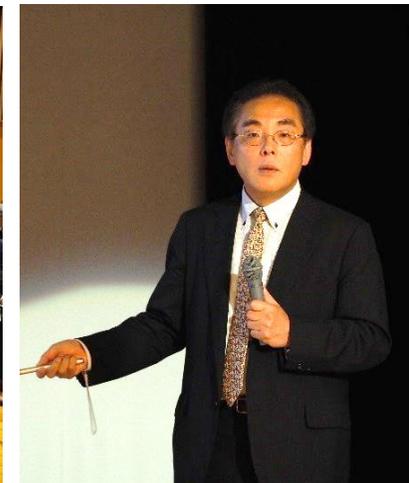
《講演》

講師 東京大学大学院 情報学環 特任教授 片田敏孝氏  
演題 「大規模水害からの犠牲者ゼロを実現するため  
住民と行政は何をすべきか」

来 場 者：約215人



ホールの様子



片田特任教授による講演



水防災意識社会の再構築に  
向けた取り組みの紹介  
（木曾川下流河川事務所長）



大雨から身を守るための  
防災気象情報  
（名古屋地方気象台長）



会場の様子  
（左：パネル展示 中：動くハザードマップ体験ブース 右：災害対策車両の展示）